

公益社団法人日本技術士会 長野県支部

CPD 講演会・平成 28 年度試験合格者祝賀会 開催報告

日 時 平成 29 年 4 月 8 日 (土) CPD 講演会 (14:00~16:30)・合格祝賀会 (16:30~18:30)

会 場 ホテル信濃路 3 階「信濃」

講演会 演題Ⅰ「生涯現役～技術士として過ごした 47 年を振り返って～」

小澤技術士事務所 代表 小澤信也 氏 (日本技術士会名誉会員)

演題Ⅱ「社会の期待に応える技術士に向けて」

公益社団法人日本技術士会長野県支部 幹事 有賀良夫 氏

演題Ⅲ「合格までの道のり」

平成 28 年度試験合格者 加藤真彰 氏 (二次試験 応用理学部門)

参加者 講演会 54 名 (合格者 24 名含む), 祝賀会 44 名 (合格者 19 名含む)

講演会の演題Ⅰでは、(公社)日本技術士会の名誉会員であり、長野県支部の活動を支部が発足する前(長野県技術士会時代)より支援して頂いた小澤信也氏より、「生涯現役～技術士として過ごした 47 年を振り返って～」と題して、講演して頂きました(写真-1, 写真-2)。講演では、技術士として経験された社会情勢の変化(生産第一主義から国際化・環境優先主義)や、日本技術士会や日立技術士会の活動で得られた経験について説明されました。最後に、技術士として長年活動できた秘訣と、御自身の忘れられない経験(ある廃止プロジェクト)について、紹介して頂きました。

講演会の演題Ⅱでは、長野県支部幹事の有賀氏が、「長野県支部設立の経緯や活動状況の紹介」などについて講演されました(写真-3)。後半は、「技術者倫理の歴史」や「自然や歴史などから学ぶ技術」について解説され、合格者だけでなく会員にも「高い倫理観や物事を学ぶ謙虚な姿勢」の重要性について考える機会となりました。

講演会の演題Ⅲでは、20 代の若さで技術士二次試験に合格された加藤氏に、受験体験記を発表して頂きました(写真-3)。冒頭に、口頭試験で行った業務経歴の説明を再現することで、御自身の専門や受験の動機などを解説されました。また、趣味であるマラソンと技術士試験(勉強)の両立方法や、試験当日のエピソードなども紹介して頂きました。

技術士第一次・二次試験合格祝賀会では、合格者の自己紹介が行われ、合格者に今後の抱負や所属会社の紹介、普段行っている仕事について説明して頂きました。講師や合格者、会員の活発な意見交換が行われ、熱気に包まれた実りある交流の場とすることができました(写真-4)。



写真-1 小澤氏の講演



写真-2 満席の講演会場



写真-3 講師の有賀氏と加藤氏



写真-4 祝賀会の様子